

眼科

メスを使わない眼瞼下垂治療 まぶたの悩みに、新しいアプローチ！

「最近、目が小さくなった気がする」「まぶたが重く、視野が狭くなった」など眼瞼下垂でお悩みの方に朗報。本年5月、手術ではなく**薬物療法(点眼薬)**の選択肢が加わり、西の京病院眼科でも7月から導入。白内障手術や網膜硝子体手術のエキスパート、西の京病院眼科の伊藤 暁部長に詳しく伺った。

人の感覚で生活に大きく関わるのは「視覚」です。まぶたが上がると生活感が全く変わります。疲れも違うし、いろいろな意味で楽になります。手術と異なり、休業も可能です。

眼科部長
伊藤 暁 医師
ITO SATORU

週2回はジムで筋トレ
続けてまして体脂肪は
14%です。←細マッチョ(^^)♪

先生の
健康法

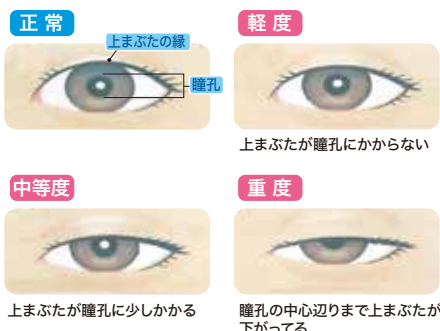
眼瞼下垂とは

眼瞼下垂は、**上まぶたが正常位置よりも下がって目が開きにくくなる状態**。視野確保のため、無意識に眉を上げておでこにシワを寄せたり、あごを上げて仰向けになったりする。

こんなサインはありませんか？

- まぶたが重く、開けづらい
- 眼そうに見られる
- 視界が狭く感じる
- 写真で左右の目の開きが違う
- おでこに力を入れないと目が開けられない
- 夕方になると目が疲れる

眼瞼下垂の程度の分類



眼瞼下垂の原因

上まぶたは**上眼瞼挙筋**と**ミュラー筋**の収縮で引き上げられ、眼瞼下垂はこれらの筋肉が弱まって引き起こされる。

原因には、**加齢**や**生活習慣**(目をこする、コンタクトレンズの長期使用など)、**先天性**(眼瞼挙筋の機能不良)、

頭痛や肩こりの原因にも！
また見た目の印象にも影響！

内科疾患(重症筋無力症などの神経の病気や脳の病気)によるものがある。

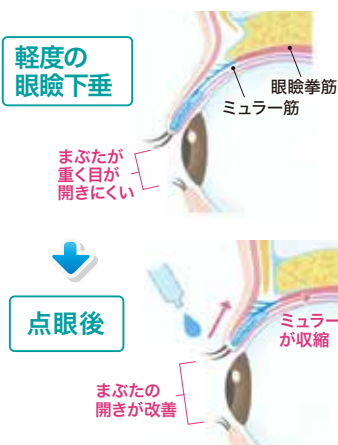
放置するとこんな影響も…

- 肩こりや頭痛の原因になることがある
- 目が疲れやすく、集中力が続かない
- おでこのシワが深くなる

まぶたが変わると、 見える世界も変わる

治療の
選択肢

これまでは、その重症度によって外科手術が行われてきたが、2026年5月、**後天性眼瞼下垂に限り、上まぶたを引き上げることができる点眼薬(アップニーク®ミニ)**が認可され、同院でも7月1日から導入、眼瞼下垂治療の選択肢が増えた。



治療開始@人の声

- 「視野がパッと開けて世界が明るくなった。クラス会や旅行などお出かけの時に重宝♪」
- 「夕方目の疲れが違ってきました」
- 「説明では、約8時間持続ってことでしたけど、もう少し長い感じ♪」
- 「年齢のせい」とあきらめず、気軽に相談ください。治療は**老若男女OK**です。

診察日 月曜～金曜の午前
※午後は予約診療

「目の教室(よろず相談室)」

好評開催中 白内障に関する勉強会&視力測定・目の悩み相談

第1・4月曜 15:00～15:30
無料 予約不要 当日参加OK
問 ☎0742-35-1121(代)

- 目がかすむ・ぼやける
- メガネが合わない
- まぶしい
- ものが二重・三重に見える

白内障、緑内障や
黄斑変性、ドライアイなど、
目に関することなら何でも
相談してみよう。

2. 点眼治療 (適応の場合)

専門看護師によるカウンセリングと点眼治療の指導・説明
→テスト点眼(30～60分)
かゆみやまぶしさなどの副作用をチェック

3. 薬局 (院外)

点眼薬を購入



使いたい
日だけの
使用もOK!

自費診療

点眼治療の流れ

1. 診察

内科的疾患の有無など原因を詳細・的確に診断
※手術治療が必要な場合は他院を紹介

